

●受難節第四主日

泉のほとり

今月の詩編「第一三〇編」

イスラエルよ、主よ待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。



釘跡に、脇腹に手を入れなさい

マグダラのマリアが墓に行つたのは週の初めの日の朝でした。その後、復活の主と再会した彼女は弟子たちのところへ行き、「主とお会いした」と証言しました。その数時間後の夕方、弟子たちがユダヤ人を恐れて家の戸に鍵をかけていたところへ主が入つて来られ、真ん中に立ち、「あなたがたに平安があるように」と語られ、ご自分の「手」と「わき腹」を見せられました。弟子たちは主の姿を見て大いに喜んだのでした。

主が彼らに最初に語られたことばは「父がわたしをお遣わしになつたように、わたしもあなたがたを遣わす」でした。弟子たちはユダヤ人による迫害を知っており、主が捕えられる夜には「世がわたしを迫害したのであれば、あなたがたも迫害します」と語られたことをも覚えていたでしょう。しかし、今や復活の主が現れ、死に打ち勝つた証しとして、彼らを遣わされるのです。

けれども、この時の弟子たちはまだ恐れに捕らわれていました。主はその彼らに息を吹きかけ、「聖霊を受けなさい」と告げられました。聖霊は彼らと共におられ、死の恐怖さえも締め出す心へと変えてくださるのです。更に、主は「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される」と語られました。旧約聖書において「赦し」を宣言するのは祭司の務めです。神の側に立ち、罪の赦しを宣言するのです。すなわち、大祭司イエス・キリストに連なる「祭司」としての役割を担うことを弟子たちに示されたことです。

人の罪は償われなければなりません。神の義がキリストの十字架の死を通して実行されました。代価を伴わない赦しではありません。そのように実行された神の義を通して、御子さえ惜しまぬ神の愛が示されたのです。キリストの十字架に表された神の義、罪と裁きの判断。それを知る者は、知れば知るほど、なすべき義の判断が更に明確になります。永遠に返しきれない一万タラントンの借金を帳消しにしてもらつた人の判断は、たつた百デナリの借金のある仲間を殴り、牢に入れるような正義で

はないでしょう。聖霊は人をキリストの十字架の御業に立たせ、受けた恵みを土台に、心へりくだらせ、一人一人の心に聖と義、罪と汚れ、きよさについて教え、なお神に赦されない罪についても気づかせてくださるのです。

今も聖霊は人の心に触れ、キリストの品性をもつものへと導こうとしておられます。今日の私たちにも息を吹きかけられながら「聖霊を受けなさい」と語られる主を思い起こし、聖霊の助けを求め続けていきたいと思ひます。

復活の主が弟子たちに姿を現したとき、トマスはその場にいませんでした。他の弟子たちが彼に主の姿を見たことを伝えましたが、トマスは「手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、私は決して信じない」と言いました。

ヨハネは「八日後」と正確に記しました。その日も戸には再び鍵がかけられ、状況は以前と同じでした。ただ、そこにトマスが共にいたことだけが違っていました。主は再び現れ、「あなたがたに平安があるように」と言われました。トマスの前で主は「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい」と語られました。トマスを恥じ入らせるためではありません。彼に信じる者となるよう導くための配慮だったのでしよう。自分の目で見えるものだけを信じるのではなく、神の力、復活の神の力を信じるようにとの主の深い導きがありました。

主は「見ないで信じる人は幸いです」と言われました。それは何も見ずに信じるという意味ではありません。ヘブライ書一七章は、信仰は見えない事柄を「見る」ことだと示しています。見ているかのようにでもなく、確かに見ることです。聖霊は求める者にキリストを刻まれ、人は聖霊のお働きを受ければ受けるほど、自分の身に、心に刻まれるキリストを見るのです。その聖霊の助けを受け、確かな信仰と希望を明確に見て生きていきたいと思ひます。

《今日のお知らせ》

- 本日の礼拝後は、全体での集会はありません。
- 受難節を過ごしています。この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚（八〇〇字）以内でお書きいただき、ご提出ください。メールでの提出も受け付けます。アドレスは「tent@gloria-chapel.com」です。

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《ルツの会より》

本日の礼拝後、ルツの会をカナンルームで行います。出エジプト一七章から学びます。聖書、讚美歌をご持参の上、ご参加ください。

新年度、リアルルの会では民数記を、メール配信は新約と旧約の両方の聖書から毎週の指定箇所をご一緒に読んで行きます。メール配信ご希望の方は楠富士子までご連絡お願い致します。

《コイノニアキャンプについて》

- 参加者を募集しています。
- ・ 日時：七月二六日(土)から三〇日(水)
- ・ 場所：台湾・高雄新興教会
- ・ 参加費：一人七万円（高校生以上の学生、二〇代の教会員には補助があります。）
- ・ 申込期間：四月二〇日(日)まで
- お申し込み書は事務所にあります。

○ コイノニアキャンプのための献金にご協力をお願いいたします。献金袋は事務所窓口横にご用意しておりますので、ご利用ください。皆さまのお祈りと献金を通して、コイノニアキャンプをお支えください。

《教育奉仕委員会より》

四月一三日礼拝後、一二時開始予定にて地下ホールで「レント感想発表の会」を開催いたします。教会員皆さまのご参加をお待ちしています。

《シオンの会より》

四月二日(水) 一〇時三〇分～一二時 シオンの会を第二シオンルームで行います。(オンラインも併用します。)

テキスト「使徒言行録を読もう」を読み始めます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《手仕事の会オリーブより》

次週四月六日に、次のように、パウンドケーキと、ブレゼントにもなるイースターエッグの販売を行います。

- ・ 一〇時～一〇時二〇分
 - ・ 教会全体の会の後、約二〇分間
- の二回です。ケーキの値段は一一〇〇円、場所は1Fロビーです。ぜひいらしてください。(今回は刺繍カードは扱いません)

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇一三〇篇】

都に上る歌。

深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。

主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に

耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら

主よ、誰が耐ええましよう。

しかし、赦しはあなたのもとにあり

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき

わたしの魂は望みをおき

御言葉を待ち望みます。

わたしの魂は主を待ち望みます。

見張りが朝を待つにもまして

見張りが朝を待つにもまして。

イスラエルよ、主を待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

（司・会）

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「裁きの神に委ねる」

聖書 サムエル記上24章1〜8節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「あなたが立ち直つたら」

聖書 ルカ22章31〜34、54〜62節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 140番 333番

説教 「民を導く方は」

聖書 使徒7章30〜37節

説教者 宮間彰広兄





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 142番 335番
説教 「自分の命を愛する者はそれを失う」
聖書 ヨハネ12章12～28節(新約P.192)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「愛のゆえに救い主は死に給う」
(マタイ受難曲より) J.S.バッハ

○讃美歌142番

1. さかえの主イエスの 十字架をあおげば

世のとみ ほまれは 塵にぞひとしき

2. 十字架のほかには ほこりはあらざれ

この世のものみな 消えなば消えされ

3. みよ主のみかしら み手みあしよりぞ

めぐみとかなしみ こもごもながるる

4. めぐみとかなしみ ひとつにとけあい

いばらはまばゆき かむりとかがやく

5. ああ主のめぐみに むくゆるすべなし

ただ身とたまを ささげてぬかずく

アーメン

○聖歌隊による讃美

「愛するイエス」 ヨハン・クリューガー作曲

1. 愛するイエス 何をなされて

こんな裁き 受けられたか

どんな罪を 犯されたのか

愛する主は

2. 鞭打たれ 茨の冠

かぶせられ 蔑まれた

酸(す)いぶどう酒 十字架の上で

口にされた

4. 羊飼いは 羊のために

その命 あえて捨てる

正しい主が 僕のために

罪を担う

5. 何と深い 主のみ心よ

何と広い イエスの愛よ

責め苦の道 歩まれたのは

私のため

○讃美歌335番

1. すくいぬしのみこえをききて

身とたまを ささぐるほかに

まことの幸 またとあらし

2. へりくだりておきなごのごと

すがりまつる わが主のほかには

つきぬちから またとあらし

3. つみをはなれ ころをきよめ

ただみむねを おこなうほかに

全き自由 またとあらし

4. 朽ちはつべきものをうちすて

主をうやまい おそるほかに

まことの知恵 またとあらし

アーメン

聖餐曲「くすしきみ姿あおぎつつ」 D.ワット

後奏曲「汝の道を示し給え」 J.S.バッハ

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。